

厳しい寒さを乗り切って満開の花を咲かせます!



# ある梅の木のお話

二月から三月へ、日脚もぐんと伸びてきたこの頃、私たちは寒さの中に小さな春を見つけて、あと少し、もう少しと厳しい寒さを乗り切ろうとします。吉川町にたくさんの盆梅を育てている方があり、今年も訪ねてみました。今回は、ある梅の木の物語を紹介しましょう。

担当／広報編集委員 井上桂子

## 生き返った私

今年もつぼみをいっぱいつけて、まもなく満開を迎えようとしている私。思い起こせば、20数年前には枯死寸前でした。

もともとはある家で、たくさんの実をつける大きな木でしたが、ある年台風で根こそぎ倒れてしまいました。

そんな私を今のご主人(嶋崎比楽さん)は貰い受けてくれたのです。1人では到底運べないので、根回りの土を落とし枝は切り詰めて、3人がかりでリヤカーに載せて運び、日当たりのよい今の場所に丁寧に植えてくれたのです。

実ではなく花を愛する木として再生するよう、ご主人は自分のお気に入りの花の咲く枝を接木して育ててくれたので、年ごとに枝振りも整い毎年花を咲かせるようになって、今ではこの家のシンボルのような存在となりました。

## 仲間たち

ご主人が梅の木を集めて育て始めたきっかけは、繁藤地区にダ

ムが出来ることになり、ダムの底に沈んでしまう梅の木を見に行こうと誘われたことでした。その時に移してきた木は大きな鉢に植えられ、今では大人のひと抱えもある幹回りとなり、見事な盆梅として毎年花を咲かせています。近所の人にはいただいたり遠くまで取りに行ったりして集めた梅の木は、百鉢以上。小さかったり弱っていたりしても、ご主人が愛情込めてやさしく気長く育ててくれたおかげで、次第に樹勢を取り戻した仲間たち。幹は皮ばかりとなつた木もあれば、背が高いからとだれるように接木してもらつた木も。年により、赤、白、ピンクに色を変え、時には赤白両方の花を咲かせることができるからと、「思いのまま」と名付けられた木もあれば、もともとこの家にあつた木は50年以上の樹齢を持つなど個性はさまざまの仲間たちばかりです。早く咲くものもあれば後からゆつくり咲くもの、紅梅白梅、一重八重とそれぞれが精いっぱい花を咲かせているのです。

## 百年も千年も

この季節が来ると近所の人たちは開花を今か今かと待ちかねます。□□ミで知り遠くから見に来る人もいます。そんな人たちのために、大小の鉢を雨のかからないうちに運んで並べたり、座敷に上げて梅見の宴を催したりして楽しんできたご主人も、高齢となり大きな鉢を運ぶのは難しくなってきました。

今私たちは庭先や裏庭で、早春の香りを届ける日を待ちわびています。

私たちはみんなご主人に命を再生してもらつたことを忘れず、この先百年も千年も咲き続けたいと願っているのです。

嶋崎比楽さん



消防本部からのお知らせ



消防本部職員を名乗る不審電話に注意しましょう

昨年より消防本部の職員を名乗り家族構成を確認する電話が高知県内で続発しております。「災害時に一人暮らしの高齢者を優先的に救助するため」や「高齢者宅の調査等高齢者の一人暮らしかどうかを確認する」ように電話をかけ、相手が家族構成を答えると一方的に電話を切っているそうです。消防本部は家族構成等を電話で確認することは行っておりません。もし、そのような電話がかかってきた場合には十分に注意してください。なお、不審な点がありましたら、消防本部までご連絡ください。

消防本部 ☎55-4141

《広報へのメール》

kouhou@city.kochi-konan.lg.jp

《香南市のホームページ》

http://www.city.kochi-konan.lg.jp

マチイロ

スマホで広報を見よう

「広報紙」はアプリ名称が「マチイロ」になりました。

